

はらり ららはらり



～図書室にはこんな本があります～

No. 102

★ 利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 「伝単」について、内容や形態等について知りたい。

答) 「伝単」をことばで検索してみます。

図書 → ことば → 伝単 → 調べる ⇒ 39件

『東京大空襲・戦災誌 第3巻』(210.75/To46/3)
いつどこにどのような内容の宣伝ビラが散布されたかが記述されています。

『企画展武器なき戦い—情報・謀略宣伝—』(391.3/Sa24/)
埼玉県平和資料館で平成14年7月に開催された企画展の図録。さまざまな国の伝単が掲載されています。

『平和への伝言—戦争実物資料復刻版』(210.75/F68)

* 「伝単」とは…
戦争で敵に対して反戦・厭戦思想を訴えたり降伏をよびかけたりする
宣伝ビラ・チラシである。

(『日本軍隊用語集』(392.1/Te43/1))

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

「海の日」ってどんな日？



空を見上げれば、真っ青な空と照りつける太陽がまぶしい季節となりました。待ち焦がれていた夏の到来ですね。

夏といえば、海。各地で海開きが行われ、海をもっとも身近に感じる季節ですよ。

ところで、世界の国々の中で「海の日」を国民の祝日としている国は唯一日本だけだそうです。

「海の日」は、国民の祝日のひとつとして1996(平成8)年に制定されました。

「海洋国家として、広く国民に海への理解と関心を求めること」を趣旨とし、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国家日本の繁栄を願う日」とされています。

もともと「海の日」は「海の記念日」とされていたのを引き継いだものです。

1941(昭和16)年に当時の逓信大臣であった村田省蔵氏の提唱により、7月20日を「海の記念日」として制定しました。この日が「海の記念日」に選ばれたのは、1876(明治9)年に東北地方を巡幸された明治天皇が、明治丸という汽船で青森から横浜に安着された日に由来しています。当時、軍艦でなく、汽船が使われたことに海洋国日本の伸展を示すものとして、国の記念日にふさわしいと考えられ、7月20日となりました。

その後、海の仕事に従事している関係者の間から、この「海の記念日」を国民の祝日にしようという動きがみられました。こうした国民の声にこたえる形で、1996(平成8)年から「海の記念日」は「海の日」として国民の祝日となり、2003(平成15)年からは祝日法の改正(ハッピーマンデー制度)により7月の第3月曜日が「海の日」となりました。

参考文献 『子どもに伝えたい年中行事・記念日』(386/H81)
『「国民の祝日」の由来がわかる小事典』(386/To34)
『五十年史』(C683/N71)



— 図書室から —

- * 昭和館特別企画展 『戦中・戦後をともにした動物たち』を開催します。
期 間:平成20年7月26日(土)~8月31日(日)
場 所:昭和館3階 特別企画展会場
- * 「夏休み宿題・研究資料リスト(平成20年度)」を作成しました。
小中学生を対象に閲覧室に配架されている図書をまとめ配布しています。
また、このリストは当館ホームページにも掲載していますのでご利用ください。

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ No. 102

2008年7月20日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1